太田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～水の都ひろしまを守る流域治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、太田川水系においても事前防災対策を進める必要があります。

○ 太田川の下流デルタ域には、人口・資産等の都市機能が集中する中国・四国地方で最大の都市である広島市の中心市街地が広がっており、洪水に対する被害ポテンシャルは非常に高いことを踏まえ、洪水時の水位を下げる河道掘削や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進めます。

○ 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間において、下流デルタ域および下流部では年超過確率1/100程度の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

■被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画の作成・運用
- 止水板の設置に対する助成

立地適正化計画区域（広島市、府中町）

山本1号砂防堰堤（広島西部山系砂防事務所）

河道掘削（太田川河川事務所）

府中1号幹線改築（府中町）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 高潮堤防・護岸整備、河道掘削、堤防整備、排水機場整備　等
- ポンプ場の改築
- 調整池の改良、貯留管等の整備
- 雨水幹線整備、改築
- 森林の整備・保全、治山施設の整備
- 利水ダム等（温井ダム、立岩ダム、樽床ダム等9ダム）における事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、中国電力(株)）
- 砂防堰堤等の整備
- 改修又は廃止する農業用ため池について活用を推進
- 農地等の保全　等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 多機関連携型タイムラインの推進
- 出前講座を活用した防災教育の推進
- 水防訓練の実施
- 洪水時の河川情報の見える化（水位・映像等）
- ハザードマップの作成・周知
- 水防活動の効率化および水防体制の強化　等

■グリーンインフラの取り組み　詳細次ページ